

第2回リニア駅周辺整備基本構想検討会議の概要について

1 開催日

平成26年11月10日(月)

2 出された意見の概要

(1)指摘事項

- 乗降客想定（1日当たり6,800人）の考え方がはっきりしていない。
- 高架下空間の活用の程度（具体的にどのくらい使えるのか）がはっきりしていない。
この点については、JR東海との調整を急ぐこと。
- さらに類似事例等の情報収集と分析を行うこと。



- 駅周辺の規模（大きさ）を考える上で必要な情報や分析が不足している。

(2)リニア駅周辺整備に当たって考慮すること

- 駐車場の広さありきの議論に終始しないようにすること。
- 地域のセールスポイントを整理するとともに、ターゲットに対する考え方を検討すること。
- ハード面での観光資源開発が必要である。
- 今ある観光資源を生かすことを検討し、あまり過大な投資は控えること。
- 環境の観点からも公共交通をしっかりと整備すること。
- 駅周辺に造る施設（立体駐車場等）については、民間活力を取り入れることも検討すること。
- まちづくりに関する県外居住者へ意識調査の検討すること。
- 駅舎を含めた集約的な整備を検討する。
- しっかりと地元への情報提供をすること。